

# 雲仙治山だより

発行・連絡先 / 長崎県島原振興局農林水産部林務課

〒855-8501 長崎県島原市城内1-1205 電話 0957-63-5073

令和2年(2020)年

7月発行

(vol.2)

## 雲仙地区治山対策事業を視察

梅雨のシーズンを前に島原振興局管内の危険箇所の現地調査が、5月26日、長崎県議会、市、警察署、消防署などの関係者の参集のもと開催されました。

このうち大野木場砂防みらい館より約2.5km上流にある赤松谷本流5号谷止工付近(右岸部)で雲仙地区治山対策事業について現地調査が行われました。

この地区では、雲仙地区治山対策検討員会から、「極楽谷・炭酸水谷に計画された3基の谷止工が、令和2年3月に完成したことで、谷の浸食抑制効果が期待されるものの、その上流部は不安定な状況にあり、調査及び観測を実施し、その結果を見極め必要に応じて追加対策を検討すべき」との提言がありました。

このことを踏まえ、平成2年度実施予定のヘリコプターによる定期的な調査観測やレーザ測量などによる観測・監視体制の強化、早期緑化を図るための航空実播工について長崎県島原振興局林務課長より説明を行いました。



治山事業の進捗状況及び令和2年度計画を説明

## 水無川流域の調査観測に着手

梅雨入り後、最初の豪雨となった6月10日～15日にかけての降雨は、連続雨量307mm、時間最大雨量33mmを記録しました。そのため翌16日、長崎県農林技術開発センターが、ドローンによる空撮を行い溪流の変化を確認しました。その結果、炭酸水谷、極楽谷のいずれについても、土石流の発生など、目視による地形の変状および治山ダムへの影響は確認されませんでした。



## ヘリ空撮による三次元(SfM)解析を実施

6月23日、水無川流域のバーチャルな調査観測を可能にする三次元(SfM)解析を目的にヘリコプターによる撮影が実施されました。

このことにより、変状箇所が解析画像として、より明確に表現されることから、定量的かつ客観的な情報を提供できようになります。



## 山地防災ヘルパーによる垂木台地森林公園の保全活動

6月19日、島原市南千本木町にある「垂木台地森林公園」において、地域密着で山地災害の予兆の把握などに努める山地防災ヘルパー島原支部(小場政昭支部長、12社32人)の研修会が開催され、会員や県振興局職員など約50人が参加しました。研修会では、治山事業の意義や安全作業について学び、その後悪天候の中、安全に配慮しながら除草実習を行い、垂木台地森林公園の保全活動にも協力していただきました。



### ===== お知 らせ =====

水無川流域(炭酸水谷・極楽谷・赤松谷本流)においては、4半期毎の定期調査観測、更に連続雨量280mm、時間連続雨量60mm、震度4を都度観測の基準値として調査観測の充実を図り、地域の方々に本誌や説明会等を通じて、その結果について情報を発信していくことにしています。